
◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇

～ほっかいどうの防災教育の集い 第21号(令和8年1月29日発行)～

..*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.*

■ 「住宅の防火・安全対策」について／北海道

■ 「ほっかいどう防災ひろば in 大和ハウスプレミストドーム」の開催について／北海道

■ 「巨大地震や津波災害から住民を守る」講師養成講座（オホーツク海沿岸地域）／北海道

..*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.* *.*.*.*

■ 住宅の防火・安全対策について

北海道では、年間約1,700件の火災が発生しており、そのうち約3割が住宅火災です。

火災による死者の約8割は住宅火災によるもので、特に冬期間はストーブが原因の火災が増加する傾向にあります。

住宅火災を防ぐためには、

- ・寝たばこをしない
 - ・調理中はコンロから離れない
 - ・ストーブの周りに燃えやすい物を置かない
- など、日常のちょっとした注意が重要です。

また、万が一に備える対策として、住宅用火災警報器の設置と定期点検が欠かせません。警報器は火災を早期に知らせ、迅速な避難につながります。年2回を目安に点検し、設置から10年経過したものは交換しましょう。

さらに、火災の熱を感じて自動で消火する「自動消火装置」も有効です。

札幌市では、65歳以上の高齢者のみの世帯を対象に、設置費用の助成制度があります。

火災時は

「早く知らせる・早く消す・早く逃げる」

この3つを意識することが大切です。

日頃の備えを見直し、安心・安全な暮らしにつなげましょう。

■「ほっかいどう防災ひろば in 大和ハウスプレミストドーム」の開催について

道民の皆様への防災意識の普及啓発を図るため、ほっかいどう防災教育協働ネットワークにおいて、「ほっかいどう防災ひろば in 大和ハウスプレミストドーム」を開催します。

「楽しみながら学ぼう！防災のこと。」をテーマに、様々な機関の特色を活かしたイベントを行い、防災に関する展示や体験型ブースの実施、ステージブースでは、防災クイズなどイベント盛りだくさんです。

ぜひご来場をお待ちしています。

当日は、同会場において、札幌市総合防災訓練も同時開催されます。

○日時

令和8年2月1日（日）午前10時から午後4時

○場所

大和ハウスプレミストドーム（札幌市豊平区羊ヶ丘1番地）

○アクセル

地下鉄東豊線「福住駅」3番出口徒歩約10分

駐車場あり (1,000円／普通車1台)

■ 「巨大地震や津波災害から住民を守る」講師養成講座（オホーツク海沿岸地域）

令和8年1月15日（木）、16日（金）に「巨大地震や津波災害から住民を守る」講師養成講座（オホーツク海沿岸地域）を開催しました。

本講座は、巨大地震や津波災害から命を守るため、地震の仕組みや早期避難の重要性など、正しい知識を身につけ、いざという時に迅速かつ的確な避難や状況に応じた行動をとることが重要であることから、自らが講師となって、こうした知識や行動の大切さを地域住民に広く伝えるため、市町村職員をはじめ、地域の防災リーダー等の方々を対象に実施しました。

その際に実施した研修資料を、道のHPにおいて掲載していますので、各自治体・町内会の防災講話などで地域防災力の向上のため、ご活用ください。

〈道HP〉

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/234960.html>